

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」西院校		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		2024年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2024年10月7日		2024年10月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 一対一の個別療育でその子の応じたオーダーメイドの療育。	・ ご家族のご意見や事業所以外の様子を知るために45分の療育時間に15分間の振り返りを行っている。 ・ 本人からの情報だけではなくご家族との連絡をとり定期的に相談をしている。	・ ご家族のご要望によって別日にゆっくりとお話をする機会を設け本人支援のほかにご家族の支援も今後密にやっていきたい。
2	・ ご家族の方に来ていただいて療育を見学される方や学校や日常生活の悩み事を相談できる。	・ 小中学校での困りごとや日常生活のを中心にした様々なご相談がある中で指導員を中心にお受けできる体制をとっている。	・ 希望者に法人が行っている個別の発達検査を提案を行うようにする。
3	・ 高校生から小学生幅広い方のニーズに応じた療育を行っている。	・ 本人からの情報だけではなくご家族との連絡をとり定期的に相談をしている。	・ 今後も引き続き連携を密に行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 個別療育なので集団での活動が少ないこと。	・ 個別療育という療育形態が要因。	・ 連携を増やす。 ・ 事業所の強み特徴をお伝えし、契約する際に事業所のことをしっかりと理解していただいた上で利用していただく。
2	・ 他の施設との交流活動。	・ ご希望されていない方や必要とされていない方など他の施設との交流に消極的な方もおられる。療育時間の都合上できない現状がある。	・ 必要とあらば今後事業者内で相談していきたい。
3	・ 教室の広さ。	・ 支援室の中に必要最低限の物を置かない。	・ 教室の広さは物の配置使い方の工夫をする。 収納面の工夫をする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」西院校 「放課後等デイサービス」

公表日 2024年 11月 20日

利用児童数 41名

回収数 32

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	4			子どもが集中して取り組んでいるので ちょうどよい。	ニーズに応じて部屋を調整させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1			個別で常に1対1で対応してもらっている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			2	段差はないので配慮がなされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32				いつも片付けられている。	今後も教室をきれいに整理整頓するようにさせていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	1			算数が得意で入り口なプリントを用意してもらっている。	今後もお子様やご家庭のニーズに応じて継続して支援させていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			2		
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2		1	毎回いろいろなゲームや取り組みをしてもらっている。	様々なプログラムをおこなえるようにさせていただきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	4	15	7	児童館等に通っていないので活動がなくてもよい。	必要に応じて今後検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32				負担額が増える際、説明があった。	今後も、丁寧な説明を心がけてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					今後も、丁寧な説明を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	6		12	話を聞いてもらったり、未就学児の保護者プログラムやお母さん同士の交流がある。	小集団で親グループとして話させていた だいていますのでそちらの参加も呼び掛 けてまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	31			1	他の保護者との関りが無い。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2		1	学校への対応で相談したがとても熱心に 聞いてもらえて安心した。	今後も、要望に応じて家族支援モニタリ ング等お話をする機会を設けてまいりま す。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32				学校への対応で相談したがとても熱心に 聞いてもらえて安心しました。	今後も、丁寧な説明を心がけてまいりま す。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	8	16	利用していないのでわからない。	小集団療育で親グループで保護者同士の 交流を行っています。引き続き開催さ せていただきます。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1			学校とうまくいっていないときとても適 切に対応してもらいました。アドバイ スの確でよかった。	今後も、子育てや様々なことを気軽に相 談できる場所としてお子様保護者の方 に寄り添った支援を継続してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1			子どもが「どんなことがしたいのか」質問して取り組んでくれた。子供の気持ちを尊重してくれている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	5	1	9	わからない。	ホームページで公開はしているが周知しておりませんでしたので今後情報発信に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	1	10	以前に説明されていたのかもしれませんがわかりました。	保護者の方が来られているときなど事業所の取り組みを周知説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	5	1	10		保護者の方が来られているときなど事業所の取り組みを周知説明させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2	1	10	非常口の前は物が置かれていないので確保されている。	保護者の方が来られているときなど事業所の取り組みを周知説明させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		10	事故等の発生したことがないのでわからない。	大きな事故がないことや来ておられる保護者の方が多いが何かあった時の迅速な連絡方向はとれるようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32				毎回とても楽しんでいる姿を見ると安心感を持っている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2			とても楽しんでいる。	今後も皆が楽しんで通所していただけるように職員一同頑張らせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1			とても満足している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」西院校 「放課後等デイサービス」				公表日	2024年 11月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を厳守したスペースで確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		法令で必要とされる配置数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バーションを用いておに様に合わせた環境になるよう工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃・消毒・整理整頓の徹底を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて、個別の部屋を用意させていただいております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎月月一回のミーティングと必要時に密に全員参加のミーティングを実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者への満足度調査アンケートを実施し業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		個別の面談を年2回やらせていただいております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		福祉センターの方や京都市の方に療育見学や職員との話し合いをおこなっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月一回の法人の研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		プログラムを作成させていただき今後内容を公表させていただきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		計画期間ごとにモニタリング・アセスメントを取った上で個別の支援計画を作成させていただいております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児発管と指導員の話し合いで作成させていただき計画に沿った支援を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児発管と指導員の話し合いで作成させていただき計画に沿った支援を行っております。また、全体にも共有させていただいております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一したアセスメントシートで作成させていただいております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5月以降の個別の支援計画には新しい様式で作成させていただいている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		必要に応じて事例を共有議論するケース会議開催している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		支援後のフィードバック時に確認したり、その日のお子さんの状況に合わせてよいプログラムになるように工夫させていただいている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		放課後デイに関しては、個別療育を中心に支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎回必ずではないが連携が必要だと担当が思うと伝えて周知しています。小集団療育の際は計画書の共有とMTをしております。	今後も継続して行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	毎回必ずではないかきになったことは共有しています。	今後も継続して行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎回指導記録を取りみなおすことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて指導内容や方法をブラッシュアップさせていただいています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		計画期間ごとにモニタリングを通して面談を行い、振り返りをしたうえで目標を設定し個別支援計画を作成させていただいている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		個別療育の観点や療育時間の都合から地域交流の活動をしばらくはあきらめて今後行いたいと考えている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		スケジュールボードを作成し当日の状況や本児の体調によって自己決定する機会を設けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		カンファレンス会議には管理者と担当指導員が参加するようにしている。活動の内容と全体の支援のことを中心に報告・情報共有させていただいております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		学校訪問を行いお子様の様子を共有しています。	継続して密な連携を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者の方の要望に応じて情報共有させていただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		園訪問などで情報共有させていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		保護者の要望に応じて情報提供させていただいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		今後児童発達センターとの連携を実施する予定です。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		個別療育を基本としておりますので要望に応じて検討させていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		日程を調整し参加させていただいております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		支援中や支援後のフィードバック中に積極的に情報交換しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		フィードバック時に家庭での対応方法についてのアドバイスや勉強会への情報提供をさせていただいております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧に説明させていただいているとともに事業所に重要書類を提示させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		支援中・フィードバック・モニタリング時におこさまのご家族のご意向を確認させていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画書作成時には丁寧に説明させていただいております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		フィードバック時にお話しする他に、別日を設定しお話しする機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		小集団療育に参加いただいております保護者の方には交流会をさせていただいております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		事業所に解決責任者を選任するなど、苦情受付体制を整えるとともに専用のお問合せ窓口電話を設定しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		室内提示スペースにて活動内容等のご案内をさせていております。	HPについて保護者の方に周知させていただきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		シュレッダーを活用して取り扱いに注意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	3	お子様や保護者の方の状況に応じて、視覚的情報を活用して意思疎通情報伝達を行っております。	情報伝達の配慮が不十分な点があるのでその方に応じた方法を再検討する。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		外部向けのイベント相談会や要望があれば療育の見学を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また重要書類を掲示しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月一回の避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	見学時やモニタリングにてお聞きしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		小麦粘土遊びをする際はアレルギーの有無を聞いています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成させていただき、訓練を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に緊急事態が起こった際の連絡方法などを説明させていただいております。モニタリング等でご家族の方に連絡先の確認を随時行っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事案が起こった際はヒヤリハット報告書を作成し話し合いの上保管しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に職員研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しております。個別支援計画の特記事項にも記載しております。		